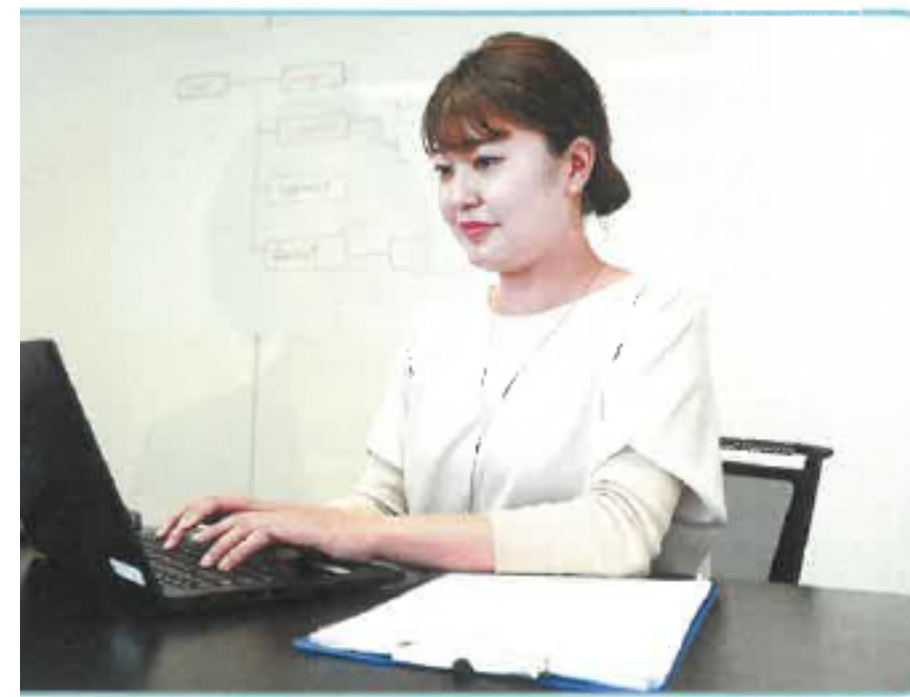


日経WOMAN 6月号に掲載されました



もともと私はこんなタイプ
人前で話すと極度に緊張。
自分に自信が持てない!

諸富さんがとり着いたのは...

「それぞれの個性を生かし、パフォーマンスを最大化する」リーダー

人前で話すとき、緊張して声が小さくなり、すごい実績もない。リーダーとは程遠いと思っていた。と諸富美南さん。だが、29歳で課長に昇進。「12人の部下の半分は年上でスキルも経験値も私より上。自分に自信が持てず、うまく立ち回れないせいで皆のポテンシャルを潰している。悩んだ時期も。しかし、「なんでも1番になる必要はない。自分ができるところをやる」と切り替え、皆が最大限のパフォーマンスを出せるよう、目標を一緒に設定したり、社内外で交渉や調整をしたり。「自分の動きを変えたら、皆で足りない部分をフォローし合える、いいチームになったと思えます」とはいえ、今も奮闘中。「それぞれの個性をもっと生かせる組織にしたいです」。

Morotomi's 5ルール

Rule 1 皆が疲弊しないよう
1 上と掛け合って
仕事量を調整

「メンバーの業務量が多すぎるときは外注を増やしたり、本社にヘルプをお願いしたりと、交渉するのは自分の役目です」

Rule 2 月1で部下と目標を設定。
2 “やらされ感”がないよう意識

「毎月部下と30分ほど面談し、1カ月の目標を設定。やらされ感のない、主体的な目標になるようフォロー。その振り返りも実施」

Rule 3 職場では耳を
3 “ダンボ”に。
会話内容から状況を把握

日ごろから部下同士の会話に聞き耳を立て、仕事の進捗状況やトラブルの有無をチェック。「困っていたら声を掛けます」。

Rule 4 「ちょっといいですか〜?」
4 情報共有は
こまめにその場で

「大きな仕事が入りそう」など、未確定でも仕事量に関わる情報は迅速にシェア。「早めに分かれれば、心の準備もできます」。

Rule 5 時には叱ることも。
5 締めは必ず
「次から頑張ろう!」に

叱るときは淡々と事実と改善点を告げ、最後に励ましの言葉を一言添える。「雰囲気悪くしたくないので、引きずりません」。



母や友人に電話。
話してスッキリ!

「仕事でモヤモヤしたら、母や友達に話を聞いてもらうのが日課。週に3回は電話します」(笑)

CASE 4

ブランドスタソリューション
ソリューション西日本営業部 課長

諸富美南さん
(29歳)

ネクシイズグループに入社後、21歳でECサイトの運営代行などを担当グループ会社で制作担当として異動。28歳で課長代理、29歳で課長。

リーダー歴 ▶ 1年半

部下の人数 ▶ 12人

主な勤務時間 ▶ 9時~18時

1カ月の残業時間 ▶ 35時間

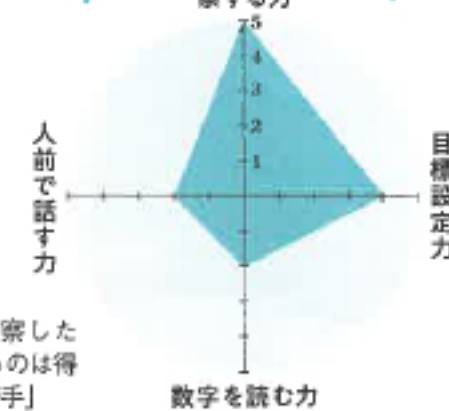
テレワークの頻度 ▶ なし

通勤バッグ ▶

夫からの誕生日プレゼント。
ロンシャンのトートを採用



スキルリーダーチャート



「部下が言いたいことを察したり、目標設定をしたりするのは得意。人前で話すのは今も苦手」